

祝

19年連続

日本一の紙のまち

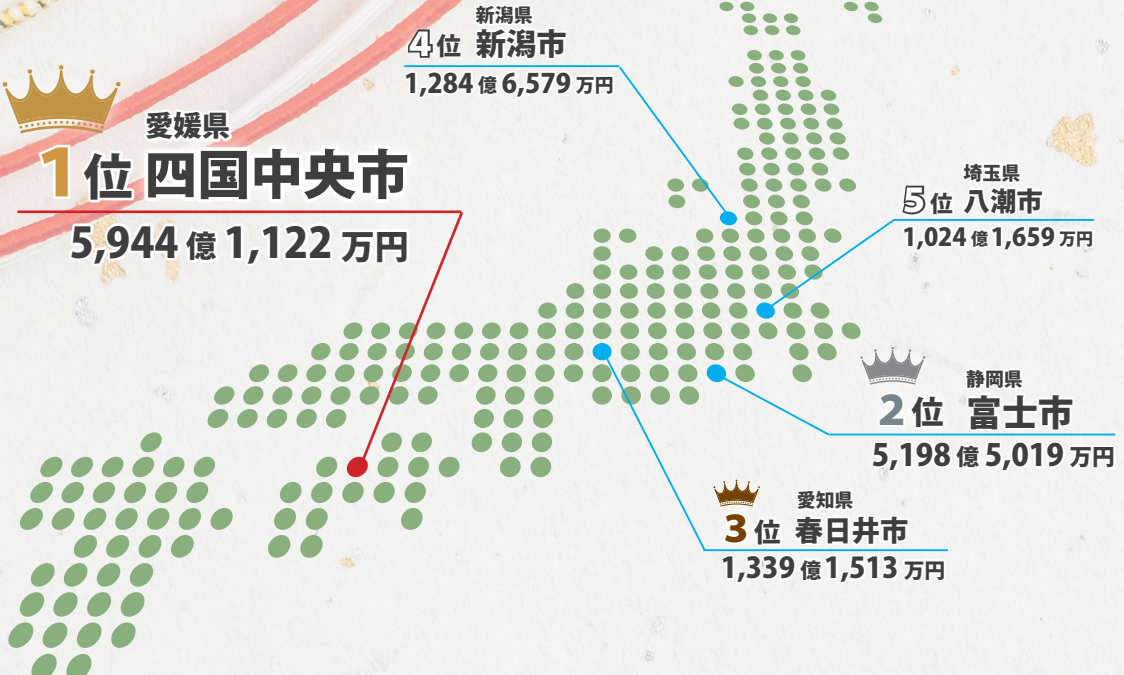
紙のまちランキング
19年連続1位達成！

「紙のまちランキング」とは、総務省・経済産業省が公表している「経済センサス―活動調査」または「経済構造実態調査」のうち、「パルプ・紙・紙加工品製造業」の製造品出荷額等が多い自治体を、本市がランキング形式でまとめたものです。

平成16年の市町村合併以降、本市はこのランキングで日本一の座を守り続けてきました。

そして、昨年公表された「2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）」（2022年実績）で、本市は19年連続で日本一になりました。

題字 三島高校書道部



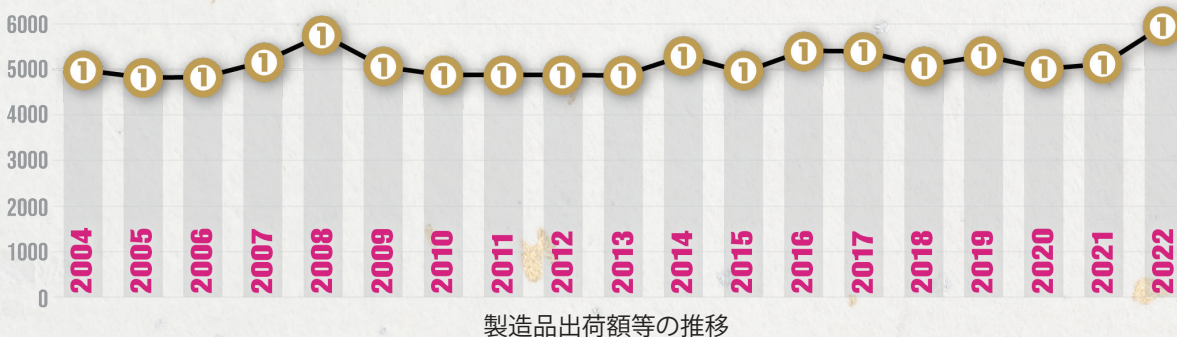
時代の変化を掴み 過去最高額を記録

DXによるペーパーレス化やコロナ禍における在宅ワークの影響により、オフィスにおける印刷・情報用紙などの需要が減少する一方で、2022年はワクチン接種や参議院議員選挙、全国旅行支援などの大型事業により、一部の印刷用紙の需要が高まりました。

また、コロナ禍により高まった日常的な衛生意識が継続していることや入国規制の緩和により人流が回復してきたことで、ペーパータオルなどの衛生用紙が需要を伸ばし、前年よりも生産量が増加しました。

加えて、原材料価格の高騰などによる製造コスト上昇分の一部を製品価格へ転嫁できたことにより、2022年の製造品出荷額等は、前年比835億円増の5944億1122万円となり、市発足以来最高額で、19年連続日本一を達成しました。

問い合わせ先
産業支援課 28・6186



おめでとうございます



愛媛大学
紙産業イノベーションセンター
内村浩美 センター長

19年連続日本一おめでとうございます。

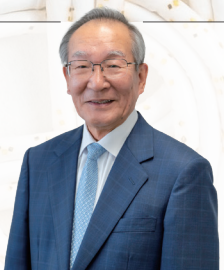
東京、名古屋、大阪といった紙を大量に消費する地域から遠いこのまちで、これほどまでに紙産業が発展した理由のひとつは、その「逆境」を跳ね返す皆さまのパワーにあると思います。

同業他社がライバルとして競いながらも、時には協力し、時には助け合い、他の地域に負けまいと努力してこられた結果が「日本一」なのだと思います。

大学が新しい技術や製品を開発する時には、企業や自治体の皆さまとの連携が重要です。本市はそれが非常にスムーズで、他地域から羨ましがられる程です。

紙という素材には、まだまだ可能性があり、その分だけ市場があります。紙って本当に凄いですね！

おめでとうございます



四国中央商工会議所
井上治郎 会頭

19年連続日本一おめでとうございます。

これは、生活必需品である家庭紙を主軸としながらも、国民の生活やニーズに合った、付加価値の高い製品づくりに取り組んできた結果であると思います。

生活必需品として確かな地位を確立している紙製品ですが、最近ではコンビニや雑貨店などで、紙を使ったアイデア商品が売り上げを伸ばしています。「あると便利」はやがて必需品に変わっていくと思います。

本年は巳年です。蛇は脱皮を繰り返して成長することから、変化と成長の象徴でもあります。今後もダムや疏水、港など先人たちが築いた礎に感謝しながら、更なる変化と成長を遂げましょう。